

【氏名】

竹内 孝治 (たけうち こうじ)

TAKEUCHI Kohji

【所属(職位)】

造形学部建築学科 (准教授)

【取得学位】

修士 (建築学)

【略歴】

2007年3月 愛知産業大学大学院造形学研究科建築学専攻修士課程 修了

2007年3月 学位 修士(建築学)取得 (愛知産業大学 修士論文「F.L.ライトの都市論にみられる超越主義思想の影響に関する研究」)

1998年4月 東日本ハウス株式会社 営業課 (2004年8月まで)

2004年10月 愛知産業大学造形学部建築学科 非常勤助手 (2008年3月まで)

2008年4月 愛知産業大学造形学部建築学科 講師 (2022年3月まで)

2021年4月 明海大学不動産学部不動産学科 非常勤講師 (現在に至る)

2022年4月 愛知産業大学造形学部建築学科 准教授 (現在に至る)

【主な担当科目】

住宅プランニング、居住文化論、住宅産業論

【主な研究分野】

住宅計画史、住宅産業論

【所属学会等】

日本建築学会

【主な研究テーマ】

1. 1940年代日本における「国民住宅」の住宅像
2. 近現代日本における住宅の工業化・商品化に関する史的研究
3. 戦後教育改革期の小・中学校教科書にみられる「住宅」の教材化

【主な研究・発表等業績】

1. 「F.L.ライトの『リビング・シティ』にみられるR.W.エマソンの農業思想の影響に関する研究」、日本建築学会計画系論文集、第619号、2007
2. 「建築家・内田祥文の「国民住宅」構想に関する研究」、住宅総合研究財団研究論文集、第36号、2010
3. 「真鍋博の未来都市観に関する研究－都市居住の新たなビジョン構築に向けて－調査研究報告書」、都市のしくみとくらし研究所、2012
4. 「建築史家・関野克の『日本住宅小史』にみられる「国民住宅」論に関する研究」、日本建築学会計画系論文集、第759号、2019
5. 「"ふつう"の家々の造られ方－戦後庶民住宅の歩みをたどる」、『NOT YET—ALREADY ものと空間をめぐる3列目的視点－「まだ」と「すでに」の間』、ルーヴィス、2021

【社会的活動】

1. 岡崎市旧本多忠次邸歴史文化講座講師 (近代建築史のなかの住まい)
2. 岡崎市民大学講師 (住宅金融公庫－戦後の住まいをつくった「鋳型」)

【その他の活動】